



Lend a Hand
手を貸そう

国際ロータリー第2750地区多摩東グループ
東京多摩グリーンロータリー・クラブ

Weekly Report



クラブ会長テーマ 手を貸そう! そして強く握ろう!

2004-1-14 第637回例会 NO. 14-26 2004-1-21 発行

◎司会 SAA委員会 小林 正

◎点鐘 会長 大松 誠二

◎ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介 会長 大松 誠二
・朝日新聞論説主幹 若宮 啓文 様
・岡山西南RC 椎原 裕二 様

◎会務報告 会長 大松 誠二

- 1、多摩商工会議所、多摩青年会議所、多摩中央警察署の新年会に出席の件
- 2、下半期の方針 — クラブ奉仕の充実
会員増強、例会の充実、親睦活動等について
- 3、セバスチャン・サルガド写真展について

◎幹事報告 幹事 藤本 吉文

- 1、1月2日大松会長のご尊父様、ご逝去に関しクラブより香料及び献花をした件
- 2、下半期会費納入請求の件
- 3、元米山奨学生（ソン・ミンヨンさん）等、各方面からクラブ宛の年賀状を頂いた件
- 4、ロータリー情報最新版を希望者される方は事務局宛にお申込下さい
- 5、2月4日の例会場変更の件
当ホテルの都合によりウェル・サンピア多摩に変更致します。

◎次年度会務報告 次年度会長 菊池 敏

本日例会後、事務局にて被選理事会を開催する件

【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 小林 正

- ・会員総数 44名
- ・出席義務者数 43名(出席免除者2名)
- ・出席者数 36名
- ・欠席者数 7名(事前MU1名)
- ・出席率 86.05%
- ・欠席者：赤尾 恭雄、萩生田茂夫、平野 行廣、
正房 正孝、佐伯 和廣、高野 範城、
由井 眞司
- ・補填MU：赤尾 恭雄 1/13 東京多摩RC

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 宮村 宏

- 大松 誠二 会員の皆さん、今年もよろしくお願い致します。朝日新聞の若宮様、卓話よろしく。
- 藤本 吉文 若宮様の卓話楽しみです。田中さん、写真ありがとうございます。
- 関岡 俊二 本年初めての例会出席です。皆様、本年もよろしくお願い致します。
- 萩生田政由 新年明けましておめでとうございませう。
- 藤原 正範 若宮様、卓話楽しみにしています。
- 津守 弘範 今日は保護司会との会議同時で時々中座します。
- 杉野志保子 お寒いですね。雪が降らなくて嬉しいです。
- 北村 幸彦 若宮論説主幹の卓話、楽しみです。
- 伊澤ケイ子 クリスマス例会ご協力頂き楽しい会になりました。ありがとうございました。(遅くなりました。)
- 根本 泰守 先週3クラブ合同例会で昨年に続いてビンゴのトップ、しかもパーフェクトでした。今年も早々運を使い切ったようです。
- 宮村 宏 朝日新聞論説主幹、忙しい中、卓話ありがとうございます。皆様、年賀状、大変あり

東京多摩グリーンロータリー・クラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会長】大松誠二 【幹事】藤本吉文

【クラブ会報委員長】赤尾恭雄 【副委員長】正房正孝

【委員】遠藤二郎・平野行廣・佐伯和廣・澄川昇・高木淳光・由井眞司・小田泰隆

ありがとうございました。喪中でしたので失礼致しました。

本日の合計¥17,000 (累計¥568,998)

◎SAA委員会 委員長 根本 泰守
欠席届及び遅刻連絡の依頼

◎国際奉仕委員会 委員長 吉沢 洋影
例会後、国際大会出席に関して打合せ開催の件

◎ゴルフ同好会 村上 久
12月8日開催、3RC合同チャリティーゴルフコンペの決算報告

◎卓話 朝日新聞論説主幹 若宮 啓文 様
『イラク派遣と日本』



例会前の親睦風景



- ・開国以来の歴史的状況及び戦後の日本の国際貢献
- ・自衛隊派遣には世論が二分されている現状。日本の特性を考え、国際貢献のあり方については慎重を期すべきであり、イラク自治政権の早期発足を望む。
- ・戦争とメディアの役割を真剣に考えている昨今であること。(録音資料は事務局に保管)



◎点鐘 会長 大松 誠二
(例会担当：遠藤 二郎)

1月は「ロータリー理解推進月間です」

——マジアベRI会長メッセージより——

1月は、新しい年を迎えるとともに、ロータリー、そしてロータリーが包含する多くの文化についてあらためて学ぶ機会をもたらします。

ロータリーを学ぶために費やされる時間は、未来への投資です。ロータリーに精通している会員は、その知識ではかのロータリアンを啓発し、会員になることの意味を伝えることによって、ロータリアンでない人をつなぐことができます。

私は、今月、ロータリーについてさらに学ぶことを皆さんにお願いします。私たちがロータリーの歴史とその奉仕の伝統を心から理解したとき、新会員を迎えることに、そして地域社会で、世界中で手を貸すことに、確かな備えをすることができるのです。

【ロータリー知識】 入門編 国際ロータリーと他の機関について (ロータリーの代表者ネットワーク)

国際ロータリー (RI) はロータリーの計画、政策や国際社会での活動の認知度を高めるのと下記を実行する為に、年毎に代表者を指名し、国際的機関の役員や職員と定期的に会合を行っております。

- 共通の関心事や協力の可能性がある分野の討議
- ロータリーの計画を諸機関に伝達
- 諸機関の活動状況、現地での協力の可能性、情報収集

RIは下記の諸機関に代表者を指名しております。

※国連ニューヨーク事務所 (UNNYO)

ロータリーは国連内にニューヨーク事務所を持ち、ロータリーのボランティアが駐在しており、ユニセフ (UNICEF)、ユニフェム (UNIFEM)、とエコソク (ECOSOC) を含む国連の諸機関の会議や催事に出席します。

※国連ジュネーブ事務所 (UNGO)

ロータリーの代表者はジュネーブに在る国際保健機関 (WHO)、国際労働機 (ILO)、国連難民高等弁務官 (UNHCR) を含む国連の諸機関と連絡を維持します。

※国連ウィーン事務所 (UNVO)

1984年以來、ウィーンのロータリー代表者は薬物濫用、青少年、高齢者に関する政府間機関と活動をしておりま

※欧州評議会 (CoE)

RIは、1995年に欧州の機関との協力強化の為、欧州評議会と公式に連携を開始し、CoEを通じてロータリーの代表者は精力的に欧州内の有力メンバーとロータリーの仕事についての情報を分かち合い、ロータリーの代表者が評議会のNGO委員会に活動的に参加しております。

※国連教育科学文化機関 (UNESCO)

ロータリーとユネスコとの関係は、国際間に文化と教育の交流を促した1943年のロンドンロータリー大会に溯り、ロータリーが数十年間も支援してきたのと同じ目的を持つユネスコ設立の起動力となりました。最近ロータリーが平和及び紛争解決の為の国際問題研究を大学に設置したのは、世界平和と相互理解を最終目的とするユネスコの目標と合致するものです。

※国連食料農業機関 (FAO) と世界食料計画 (WFP)

1997年以來ロータリーは食料配布、飢餓救済と持続可能な農業を通じて飢餓軽減を共通目的とするFAOとWFPと公式な関係を維持しております。

※国連環境計画 (UNEP) と国連人間居住センター (UNCHS)

1990年代末に、RIは長期的で継続可能なプロジェクトを通じて環境関連と居住地問題への対応支援する為にUNEPとUNCHSと公式な関係を結びました。

※アフリカ連合 (AU) とアフリカ統一機関

1997年にRIは最初のアフリカ外のNGOとしてアフリカ統一機構と公式な関係を樹立しました。OAUとロータリーと一緒にアフリカの保健、教育、家族計画、シェルターのような主要な問題に取り組みました。RIは新しく編成されたAUとの協力を期待しております。

※世界銀行 (WB)

RIは1997年に経済成長、貧困減少の促進と環境保全への努力に力を合わせる為に、世界銀行と公式な関係を結びました。

※米州機構 (OAS)

1977年に国際ロータリーの代表者ネットワークをラテンアメリカとカリブ海を含む地域に広げました。

※アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP)

国際ロータリーは2002年に非常に多様性のあるアジアと太平洋地域に焦点を当てる為、この地域的な国連機関に代表者を指名しました。

監修 : RI JW委員会 2003/5/18

(コーナー担当: 遠藤二郎)

1月27日は ポール・ハリス没後57年です

1月27日を含む1週間は、ポール・ハリスをはじめロータリーの発展に貢献のあった多くの先人たちを称える

「追悼週間」です。

クラブ創立当初、追悼の意を表する「白いリボン」を胸につけて例会に臨んだことを覚えていませんか。

ポール・ハリスを我々の心に！ Part 23

我が家では、いつもごたごたが絶えなかった。従って、祖父が二件目のドラッグストアを買ってくれたときは、父はとても感謝していた。店はウォリングフォードから25マイル（40キロ）ほど離れた町、フェアヘブンにあったが、お陰で家族が一同に再会することができた。祖父はポール達一家の住居をも買ってくれたのだった。万事好調で、父は元気発刺として楽道家になった。

両親と一緒に暮らすようになって、ガイ、クラウド、レジナルドと次々に子供が生まれたので、スーおばさんが移ってきて、専ら子供達の面倒を見ていた。ガイは幼少の折に亡くなり、クラウドは20世紀初頭にフィリピンで戦死し一命をアメリカに捧げた。レジナルドは丈夫で、ワイオミン大学の教授になり、第一次世界大戦でアメリカ陸軍に従軍し、のちにカリフォルニアに住んでいた。

フェアヘブンでは父は植物の成長期になると畑仕事に励み、じゃが芋、イチゴ、葡萄の収穫に精を出したり、隣のカソリックの神父とお喋りに花を咲かせたりしていた。父は畑仕事に精を出せば、生活費が安く済むと計算していたようだった。

しかし、父がドラッグストアに精を出し、母が家庭を切り盛りしている間は家庭内は円満だったが、父がまた道楽の発明に凝り出し、母が家事をお手伝いさん任せにして音楽を教えたり、聖歌隊やウェールズ合唱団の指揮に熱を上げ始めると、家庭内の空気がおかしくなってきた。それを察した祖父がタイミングよく忠告してくれるが、父には効果がなかった。

結局、フェアヘブンの我が家は行き詰まって、また一家は離散することになった。フェアヘブンを去ることになったポールは、今回もウォリングフォードの懐かしい我が家に迎え入れられた。僅かの間に合計三度も静で落ち着いた祖父母の家に迷込んだことになった。

ポールは、父から来た手紙を読む祖父がどんな気持ちか気掛かりだった。手紙を読み終わると、肘掛け椅子に何時間も座ったまま大きな溜息をついたり、すすり泣いたりしていたが、そんな祖父の姿に胸が痛くなった。ポールはまだ一人前になってはいなかったが、重荷を背負っている祖父に対し深い同情の念にかられた。

（コーナー担当：赤尾 恭雄）

ポール・ハリスを我々の心に！ Part 24

祖父は忍耐強くて、他人や国歌についての悪口は言わなかった。近所の人に憎まれたり、嫌われたりしたことは全くなかったようだった。もし、非難されるとすれば、祖父が村の運営にはあまり力を入れなかったことである。祖父は自信があることでも、口下手だったので、説明役はジョエル・エインズワースのような能弁家に任せていた。彼等はよく研究したことなのか、或は思いつきなのか分かりませんが、何につけても発言したがった。祖父はきちんと税金を納め、そのほかの義務も十分果たしていることで満足し、人を押し分けてまで発言するようなことはなかった。会合でいがみ合いが始まりそうになったり、議論が激しくなってくると、祖父はそっと席を外した。事の如何を問わず、祖父は議論が苦手だった。

祖父はこういう性格だったので、人と喧嘩するようには見えなかったが、ポールがウォリングフォードに行く前に或る人と仲違いをして、それが死ぬまで続いた。その相手というのは、事もあろうに一番仲良くしなければならなかったエド、つまり隣のリブおばさんの亭主だった。

ところが、始末の悪いことにエドも議論しなければならぬときでも、黙って何も言わないような人だった。もし、この二人のニューイングランド紳士が話し合っただけで仲直りしていれば、両者の生存中に問題は解決していたのだが、そううまくはいかなかった。仲違いしてから半世紀、ずっとくすぶっていたが、火を噴くまでには至らず、街の中ですれ違っても挨拶もしなかった。

エドの家と我が家の飲み水は、山裾の湧き水を共用の丸太の樋で水溜箱まで引き、そこから両家に分かれていた。樋が古くなると時々途中で水漏れが始まり水が出なくなった。両家にとっては災難だが、そんな時は、仲の悪い祖父とエドは、二人とも現場に急行して水漏れ箇所を探し、お互い口もきかずにとだ黙々と修理に取り組みながら感心するほど上手に直した。仕事が終わると、二人は別々に自分の道具を集め、黙って道具部屋に収めた。その間、エドは、バーモント人がやる悪い癖で、あちらこちらにペッペッと唾を吐いた。

エドは、ポールやポールの父には時々当たり散らすことはあっても、祖父のことは一言も口にせず、「眼中になし」といった態度だった。

（コーナー担当：赤尾 恭雄）